

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====
【ソフト名】SST G1Pro アップデートインストーラ
【対象製品】SST G1 Pro 日本語版 / 英語版
【登録名】SST G1 Pro Ver.1.1.39
【アプリケーション名】setup.exe
【著作権者】株式会社カンバス
【動作環境】Microsoft Windows 7/ 8 / 8.1 / 10 / 日本語版 / 英語版
【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。
 2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。
=====

<Ver.1.1.39> 2018.4.11

本バージョンアップによる変更内容

1) 機能追加

- ・Netflix用データチェック、Netflix Cap
- ・ユーザー設定
- ・字幕移動

2) 機能修正

1) 機能追加

●Netflix用データチェック、Netflix Cap (共通)

「!」「?」に続く空白文字のサイズ」のチェック項目を追加しました。

画面表示内容	動作	チェック項目
「!」「?」に続く空白文字のサイズ	警告	「!」「?」(全角半角共に)の後ろに半角スペースが存在している。全角スペースやそれ以外の任意の文字列の場合はチェック対象外。

- ・「?」「!」(全角半角共に)の後ろに半角スペースがある場合 → チェックで検出される。
- ・「?」「!」(全角半角共に)の後ろに全角スペース、もしくは任意の文字列がある場合 → チェックで検出されない。

※「!」「?」は全角でも半角でもチェック対象となりますが、その後続くスペースが半角の場合のみチェックで検出されます。

※「!」「?」の後ろに半角スペースが2つ連続して存在する場合もチェックで検出されます。

※「!」「?」の後ろの半角スペースのみが検出対象ですので、例えばそのまま任意の文字が続く場合、チェックでは検出されません。

例／「なんで?と言っても」や「Hey!Say!JUMP」の場合の「?」や「!」は検出対象となりません。

下記の文字は本チェック項目の対象外です。

- !? (文字コード 2049/半角の枠の中に「!」と「?」が入っている)
- ?! (文字コード 2048/半角の枠の中に「?」と「!」が入っている)
- ?? (文字コード 2047/半角の枠の中に「?」と「?」が入っている)
- !! (文字コード 203C/半角の枠の中に「!」と「!」が入っている)

●ユーザー設定

—映像の末尾より後の位置でのスポットティング、in 点/out 点の調整、字幕移動等ができるようになりました。

これまでのバージョンでは映像の末尾より後の位置を波形上に表示することができないため、スポットティング、波形上での in 点/out 点の調整、字幕移動等ができませんでしたが、本バージョンでは[ユーザー設定]-[ガイドライン]タブの「字幕付与範囲」で「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」を設定すると、映像ファイルが終了した後も設定時間分はこれらの操作ができるようになりました。

なお、タイムコードをインジケータに直接入力しての in 点/out 点の調整、字幕の文字編集、表示位置/行配置の変更などはこれまでのバージョンでも映像範囲外での操作が可能です。

ユーザー設定

ガイドライン 画面表示 詳細 色 メンテナンス 言語 再生

字幕

文字数(秒): 4.00 ルビも文字数に含む

文字数(行)(横): 16.0 半角を0.5でカウントする

文字数(行)(縦): 16.0 スペースをカウントしない

半角を0.5でカウントする

スペースをカウントしない

組文字は1文字としてカウントする

タイムコード

字幕表示時間: 警告 01:00 強制 00:15

字幕の間隔: 警告 00:10 強制 00:00

数値による選択方法

字幕番号 インデックス

ダッシュとして指定する文字列

-- -- -- -

字幕付与範囲

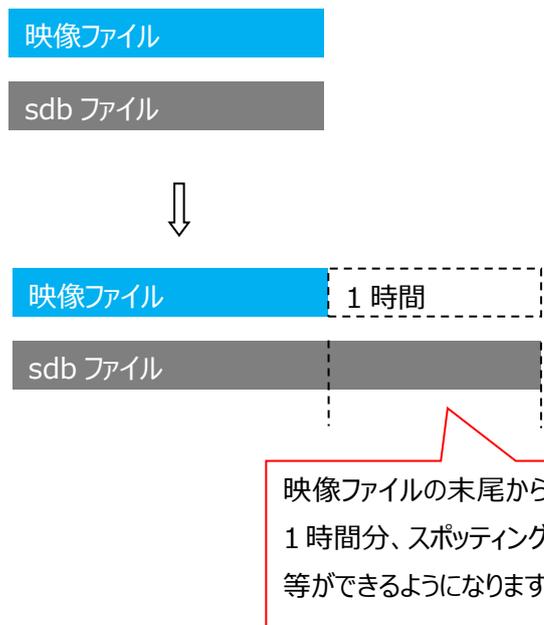
映像の末尾以降に字幕を付与できる時間: 1 (時間)

インポート エクスポート

デフォルトに戻す OK キャンセル 適用

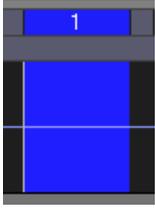
[例]

「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」を1時間に設定した場合

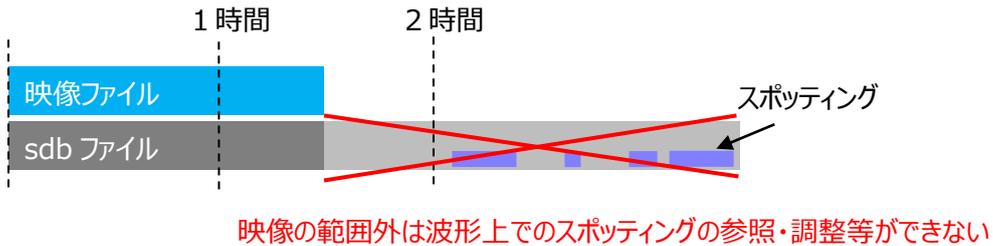


[例] すべてのスポッティング (注1) が映像の範囲外 (映像の末尾以降) に存在している場合

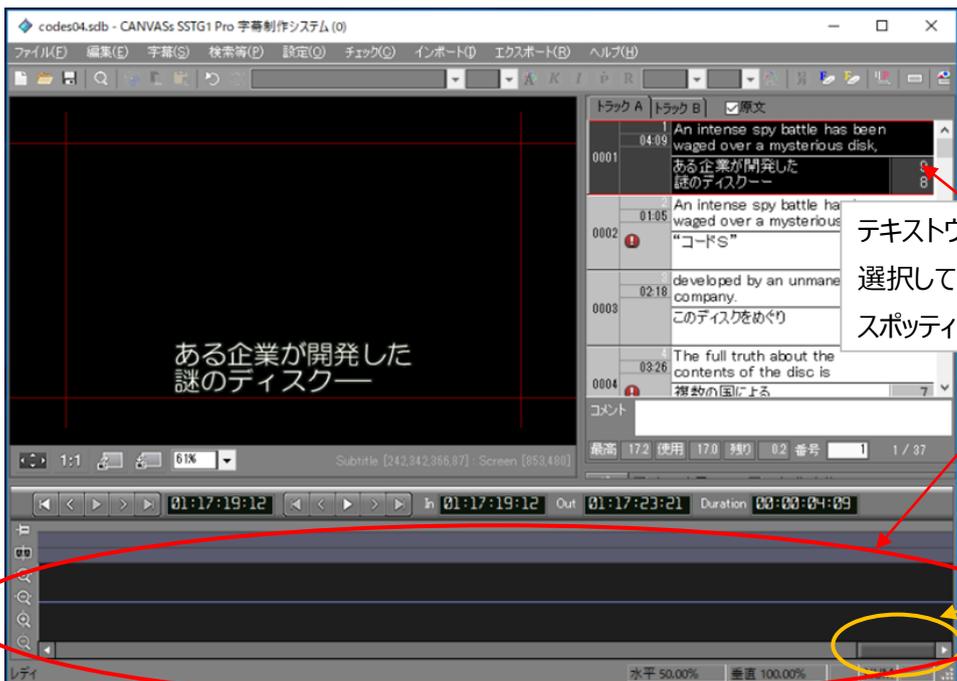
(注1) 「スポッティング」とは、ここでは波形ウィンドウ上に表示される右図の青色部分を指します。



○ これまでのバージョン



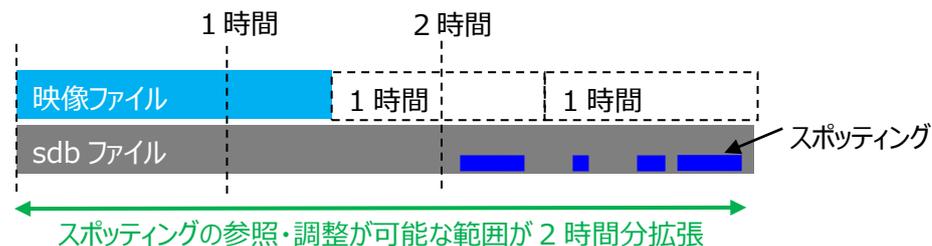
テキストウィンドウで先頭の字幕 BOX を選択した状態



テキストウィンドウで字幕 BOX を選択しても、波形上にスポッティングが表示されない

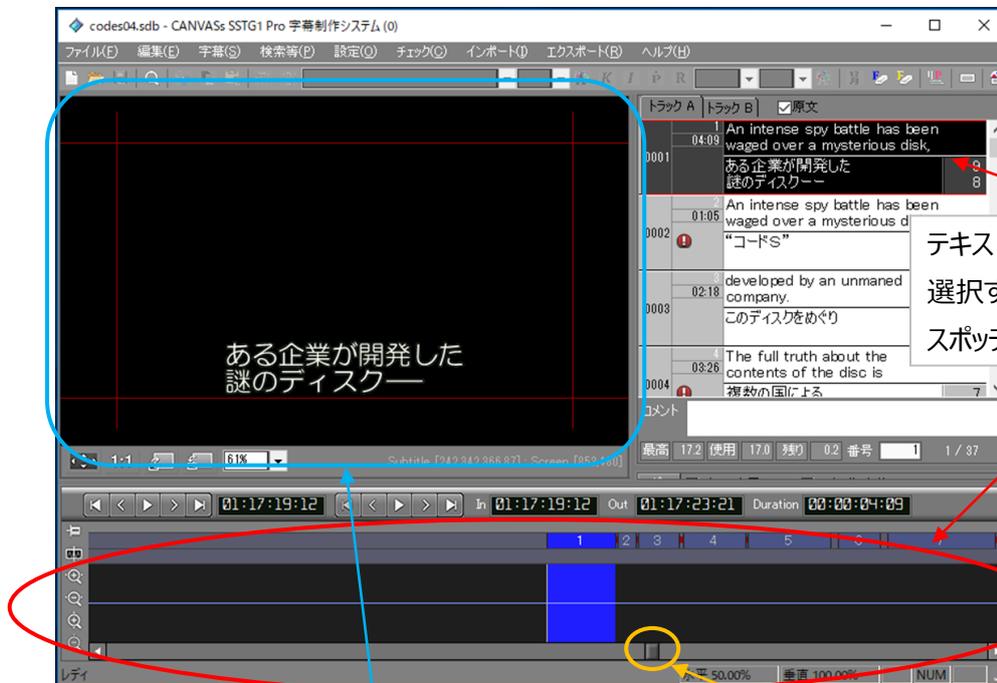
映像ファイルの末尾が表示された状態

○ 本バージョンで「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」を2時間に設定





「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」を
2 時間に設定



テキストウィンドウで字幕 BOX を
選択すると、波形上に
スポッティングが表示される

現在位置が映像の範囲外のため
映像は画面上に表示されない（新再生モードの場合）

※SSTG1 モードの場合は映像の最終フレームの画が表示され続けます

sdb ファイルの編集可能範囲が
広がったため、現在位置が波形
全体の中ほどになっている

※「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」は 0～9 時間の幅が設定できます。

※この設定を変更した場合は SSTG1 Pro の再起動が必要です。

※映像がない位置では再生キーによるプレビューはできません。PageUp/PageDown キーなどによる字幕表示のみ可能です。

※付与できる時間の数値を大きくすればするほど、波形下のスクロールバーの範囲が広がります。

例えば「9」と設定すると、スクロールバーで移動できる範囲が「映像の長さプラス 9 時間分」となります。これにより、スクロールバーでのコントロールがしづらく感じられる可能性がありますのでご注意ください。

「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」が「0」時間の状態（初期設定）

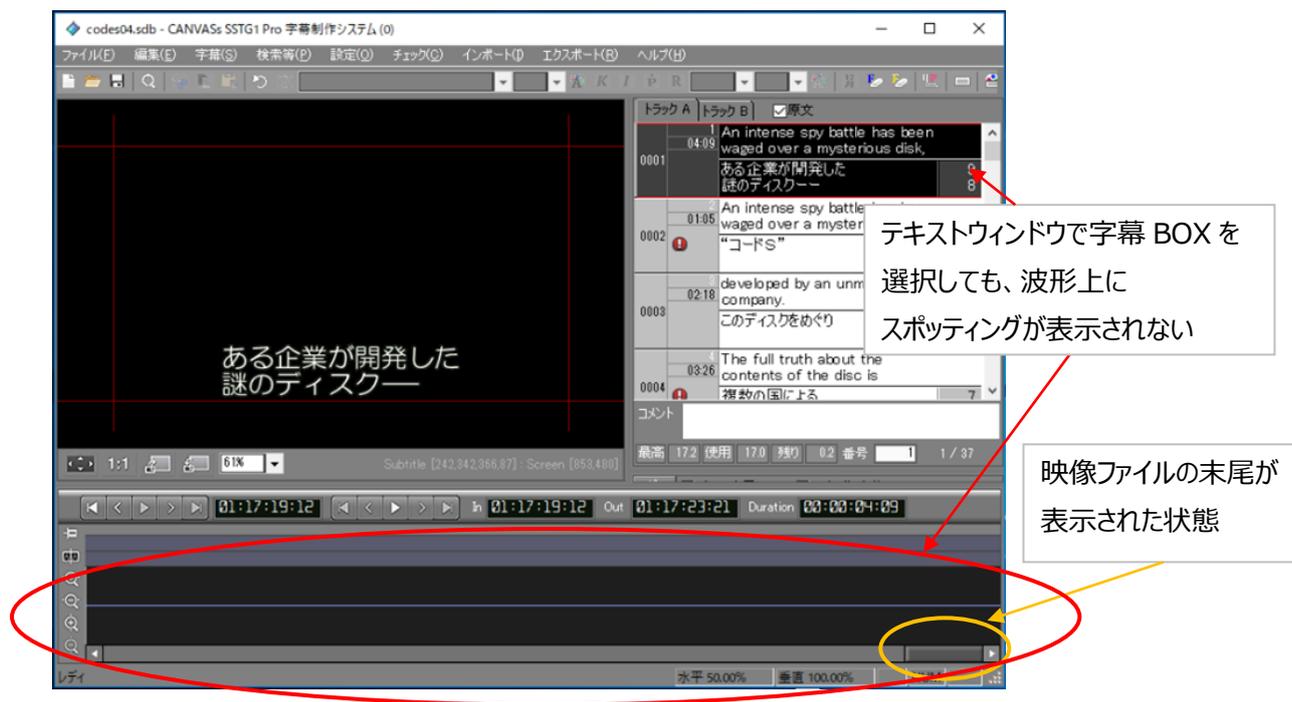


「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」を「9」時間に変更



スクロールバーで移動できる範囲が「映像の長さプラス 9 時間分」となり、その分スクロールバー（つまみ）が短くなります

○ 当該 sdb ファイルを本機能未搭載の SSTG1 シリーズで開いた場合



本バージョンで映像の範囲外のスポッティングを調整した sdb ファイルを本機能未搭載の SSTG1 シリーズで開いても、映像の範囲外に存在するスポッティングはこれまでと同じく参照・調整ができません。また、タイムコードをインジケータに直接入力しての in 点/out 点の調整、字幕の文字編集、表示位置/行配置の変更など、これまでも映像範囲外での操作が可能であった機能については、今後も引き続き操作することができます。

【本機能未搭載の SSTG1 シリーズ】

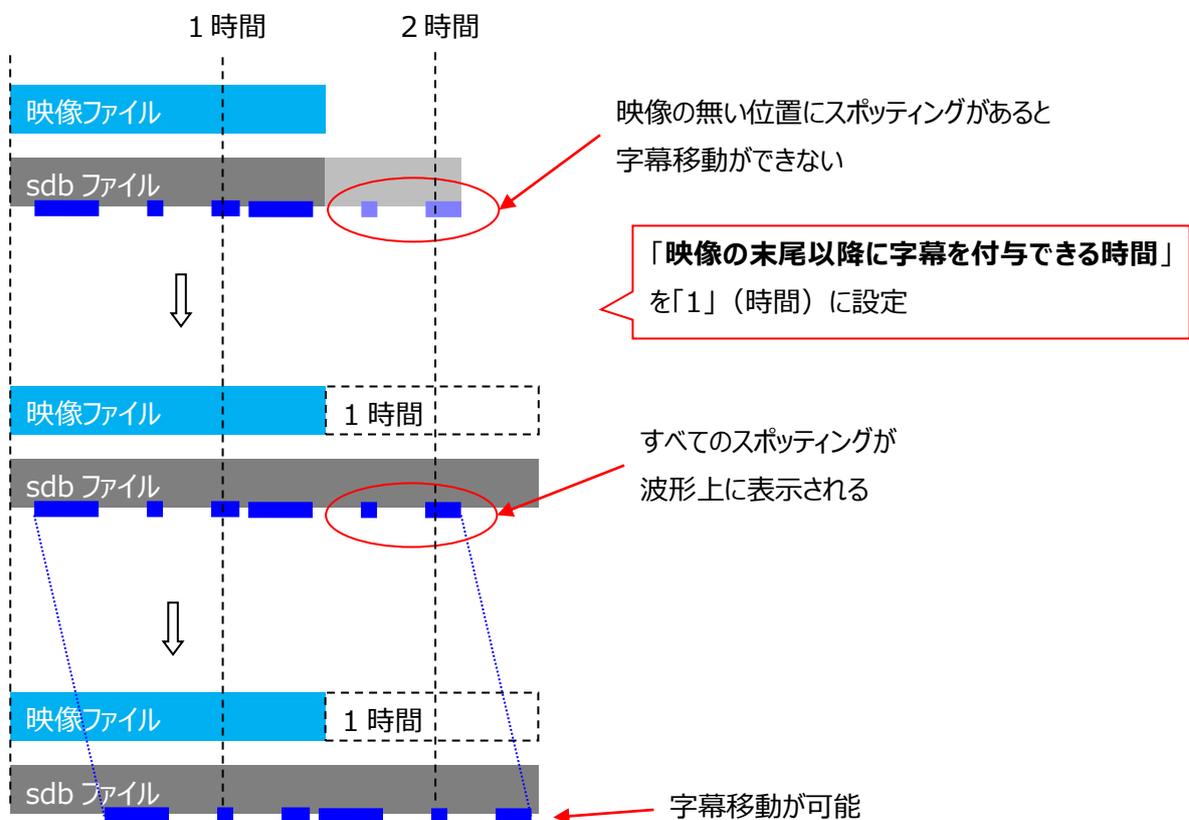
- SSTG1
- SSTG1 Lite
- SSTG1 Lite2
- SSTG1 Pro Ver. 1.1.35 以下
- NetSSTG1 Ver. 2.1.20 以下

●字幕移動

–sdb ファイルより映像ファイルが短い場合でも字幕移動ができるようになりました。

Sdb ファイルより映像ファイルが短い場合に字幕移動を行うと、これまでは「映像の無い位置への移動はできません」等のエラーが出て移動ができませんでした。前述の新機能「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」を設定して sdb ファイルの編集可能範囲を広げることにより、映像の無い位置のスポットティングを含む字幕移動ができるようになりました。

※本機能を使用する場合は「映像の末尾以降に字幕を付与できる時間」の設定を変更し、sdb ファイルに存在するスポットティングがすべて波形上に表示される状態にして下さい。



【字幕移動時の字幕間隔（強制）に関する注意点】

「字幕移動」で選択できる4つの移動方法のうち、下記の3つはユーザー設定で指定している「字幕の間隔（強制）」は考慮せず移動する仕様となっています。このため、字幕移動の結果「字幕の間隔（強制）」の設定値よりも字幕間隔が狭くなる場合がありますのでご注意ください。

字幕移動の結果、「字幕の間隔（強制）」の設定値よりも字幕間隔が狭くなっている箇所を調べるにはユーザー設定の「字幕の間隔（警告）」を強制と同じ値に設定した上で「最終チェック」の「字幕間隔の警告」のチェックを行って下さい。

「字幕の間隔（強制）」が考慮されない移動方法

- 挿入または削除によるタイムコードの調整
- 現在位置より後ろの字幕を移動
- 現在選択されている字幕のインフレームを基準に字幕を移動

字幕移動

挿入または削除によるタイムコードの調整

ビデオのインサートによる調整 スタート位置: 00:00:00:00 デュレーション: 00:00:00:00

ビデオの削除による調整

現在位置より後ろの字幕を移動

左へ移動 デュレーション: 00:00:00:00

右へ移動

現在選択されている字幕のインフレームを基準に字幕を移動

全体を移動 現在のインフレーム: 01:17:19:12 デュレーション: 00:00:00:00

選択されている字幕以降を移動

全体のスポッティングの In, Out を移動

In 点 左へ移動 デュレーション: 00:00:00:00

Out 点 右へ移動

OK キャンセル 適用

「字幕の間隔（強制）」は考慮せず字幕移動

2) 機能修正

●波形ウィンドウ

–Shift+→キーでスポッティングを行っている際に、キーを離してもカーソルが止まらなくなってしまうことがあるという問題に対し、キーを離した際の挙動を調整しました。

[ユーザー設定]–[再生]タブの「→キーの解放による再生の停止を強化する」にチェックを入れると調整が有効になります。

本件は映像系ソフトのバツティング、PCのメモリ不足等によるPC固有の問題です。この修正は根本的に症状の発生を抑止するものではありませんが、症状が発生しても一定の時間で停止させるよう改善しました。

今後も症状が出た場合の情報を収集し、引き続き改良をしてまいります。

●ユーザー設定

–ユーザー設定画面を小さくしました。これにより、画面解像度が低いノートパソコン等でOKボタンがクリックできない問題を解消しました。

●字幕移動

字幕移動（現在位置より後ろの字幕を移動）の機能を修正しました。

[字幕]–[字幕移動]で「現在位置より後ろの字幕を移動」を選択して字幕移動を行う際、これまでは現在位置（＝波形上のカーソル）をそのスポッティングのin点に置かなければ字幕移動ができませんでしたが、本修正により、選択したスポッティング内のどの位置にカーソルを置いても字幕移動が可能となりました。

●ピッチ調整

–ピッチ調整を行うと「引数が正しくありません」とエラーが出てしまうことがある問題を修正しました。

–英語環境において、ピッチ調整の警告メッセージが英語で表示されなかった問題を修正しました。

●AAF エクスポート ※有償オプション

–59.94fpsに出力した際に、Out点が1フレーム短くなる問題を修正しました。